

御社の会員、本当は何人ですか？

会員IDの数と、実際のお客様の数は一致しません。重複、届かない住所、何年も動きのない会員、保存期間を過ぎたデータ。

流出事故が相次ぐいま、持ちすぎを減らしながら、残すお客様の価値を数字で確かめる調査です。

こんなときに

- ・個人情報をどれだけ持っているか、経営や監査に説明を求められた
- ・DMの戻りや、同じ人への二重送付が減らない
- ・退会者や休眠会員のデータを、いつまで持つか決められない
- ・会員数は多いのに、施策の手応えがない

数えてみると、こうなることがあります（架空の例）

会員ID 1,000,000件
→ 同じ人の重複をまとめると **実人数 880,000人**
→ うち届かない住所 31,000人
→ うち5年以上動きのない人 **402,000人**
「100万人の会員」の実態は、手を打てる約45万人かもしれません。

調べること

測るもの	方法	出る数字
本当の人数	字体の違い（齋藤／斉藤）、番地の書き方の違いまで含めた名寄せ	会員ID数と実人数の差
届かない住所	デジタル庁が公開している全国の正しい住所の一覧と、番地まで照合（アドレス・ベース・レジストリ）	存在しない住所・番地が欠けた住所の件数
眠っている会員	最近・回数・金額を2つずつ組み合わせた3枚の地図で層に分ける	反応の薄い層（死筋）と手応えのある層（生き筋）の件数
持つ理由のない項目	項目ごとに「何のために、何年、どこに」を棚卸し	保存期間を過ぎた件数（項目別）
使えないデータ	同意の有無・利用目的と、施策での使い方を突き合わせ	施策に使えない件数

報告書でお渡しするもの

1. 減らせる件数（重複・届かない住所・死筋・期限切れ）
 2. 減らしたあとの「本当の顧客数」と、その中の生き筋
 3. いま抱えている量：万一の流出時に対応が必要になる件数
 4. 項目別の保存期間と削除基準の案、消した記録の残し方
- ※ 基準は案としてご提供し、確定は貴社の法務部門に委ねます。

進め方

1. ヒアリング：持っている項目と置き場所をうかがう
 2. 受け渡しの方法を決める
 3. 調査・集計
 4. 報告会：数字の見方と、減らす順番をご説明
- ※ 期間と費用は、件数と項目数に応じてお見積もりします。

データをお預かりしない進め方もできます 氏名や電話番号を記号に置き換えたデータでも、重複や住所の照合は行えます。お預かりする場合は、当社の情報セキュリティ基本方針と管理規程に沿って扱い、報告後に復元できない方法で消去し、消去の記録をお渡しします。

まずは、無料のご相談から

「持っている項目を一覧にしたい」「重複がどれくらいあるか知りたい」という段階のご相談を歓迎しています。

合同会社オンエーカー（OnAK）
<https://onak.co.jp/contact.php>